

昭和大学新聞

学校法人 昭和大学
発行人 小口勝司
電話 (3784) 8000 〒142-8555
東京都品川区旗の台1の5の8
1部50円 毎月1回発行

7月号の内容

- 1面
 - 第10回学祖祭開催
 - 上條最優秀論文賞決定
 - 昭和大学学術研究奨励基金 研究者決定
 - 学業成績優秀賞受賞者
- 2面
 - 上條奨学賞 受賞者決定
- 3面
 - 学校法人昭和大学 決算の概要
- 4面
 - ブルーインパルスが感謝の飛行
 - 科学研究費助成事業 交付状況
 - 学生会シンポジウムのお知らせ
 - 実習を控える学生へPCR検査

【問合せ先】

【本紙について：総務課出版・WEB係】
03-3784-8059
press@ofc.showa-u.ac.jp

【各種募金・寄付について：企画課】
03-3784-8387

【学事について：学務課・大学院課・入学支援課】
03-3784-8022 (旗の台)
0555-22-4403 (富士吉田)
045-985-6503 (横浜)
03-3784-8026 (入学支援課)

第10回学祖祭開催

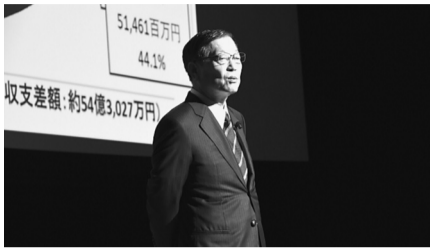
第10回学祖祭が5月31日、上條記念館で開催された。学祖祭は本学の創立者である上條秀介博士の遺徳を偲ぶとともに、本学関係者が一堂に会して絆を深めることを目的としている。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年行われている上條秀介博士の墓前報告は取り止めとなり、規模を縮小しての開催となった。



久光正学長のあいさつ



上條奨学賞授与の様子



小口勝司理事長の講話

学祖祭は午後1時、田中大介所長（保健管理センター）による『平均律クラヴィーア曲集第1巻第1番プレリュード』のピアノ演奏で開式、上條秀介博士への黙祷を捧げたのち、久光正学長があいさつを述べた。その後、上條奨学賞、上條最優秀論文賞、学術研究奨励研究者、海外留学諸活動、および学業成績優秀賞の表彰が行われた。

学祖 上條秀介博士 座右の銘「不求一身安」

「不求一身安」は、本学の創立者・上條秀介博士の座右の銘である。これは、「自分の一人だけの保身や安らぎを求めてはならない」との意味が込められている。この言葉は昭和27年に出版された評伝『上條秀介』の見開きにも、博士の自署に添えて書かれており、「不求一身安」を己の信念とし、これを広めた。

「戦後の日本で上條博士は本学の整備充実のみならず、食料の欠乏著しい病人を救おうとその確保に全力を尽くした。古くから使われている

不求一身安

上條秀介

令和2年度 学術研究奨励基金研究者および研究課題

本学では学術研究の将来を担う活力ある若手研究者を育成することを目的に、専任教育職員および大学院生の優れた学術研究に対して研究奨励金を給付している。今年度は学術研究諸活動17件、海外留学諸活動2件に決定した。詳細は表のとおり。

学術研究諸活動 17件 (申請件数: 17件)		(単位: 円)			
学 部	所 属	職 名	氏 名	給付金	研究課題
医学部	小児内科学講座	助教	上條 香織	500,000	小児期発症ネフローゼ症候群におけるアディポネクチンの分泌調節機構とその役割の解明
	小児内科学講座	助教	金澤 建	500,000	尿路感染症患児から分離されたESBL産生大腸菌の抗菌薬感受性と酵素型に関する検討
	内科学講座	助教	池田 美紗	500,000	血液透析患者の栄養障害と筋肉量及び鉄代謝の関連性について
	生理学講座	助教	奥茂 敬恭	500,000	変形性膝関節症に対する防己黄芩湯の作用機序-ラットを用いた基礎研究-
	内科学講座	講師	広村 宗範	500,000	glucose-dependent insulintropic polypeptideによる糖尿病心筋症における心保護効果の可能性
	生理学講座	助教	上條翔太郎	500,000	運動による認知機能向上の解明-運動により海馬、運動野の神経密度は変化するか-
歯学部	小児成育歯科学講座	助教(歯科)	五十嵐 悠	500,000	成長期のマウスの歯における骨粗鬆症治療薬の作用機序の解明
	口腔外科学講座	助教(歯科)	朝倉真莉子	500,000	低酸素環境下における骨細胞のオートファジー/アポトーシス制御機構の解析
薬学部	基礎医療薬学講座	助教	牧山 智彦	500,000	脂肪滴出芽機構におけるCOP小胞関連蛋白質の機能解明
	薬物動態学講座	助教	鈴木 康介	500,000	造血幹細胞移植患者のタクロリムス血中濃度に対する年齢とアゾール系抗真菌薬の影響
	病院薬剤学講座	助教	中谷 香織	500,000	がん患者におけるG-CSF製剤の適正使用調査-当院と医療ビッグデータとの比較-
	病院薬剤学講座	助教	船越 晴喜	500,000	抗不整脈薬の心房細動治療効果と肥満および薬物血中濃度との関連
	病院薬剤学講座	助教(薬科)	太田 晃	500,000	チオ硫酸銀水溶液による抗腫瘍作用の検討
保健医療学部	理学療法学科	講師	井上 拓保	493,300	携帯型超音波と瞼下音周波数解析を用いたベッドサイド瞼下評価の検査間信頼性の検証
	理学療法学科	講師	保坂雄太郎	499,000	造血幹細胞移植後の運動機能の経時的変化-退院後の長期フォローアップについて-
	作業療法学科	講師	齋藤 甚	500,000	集中治療室入室患者における身体拘束とPost Intensive Care Syndromeの関連性
富士吉田教育部		助教	有澤 岳	300,000	省力化を目的としたキョウの直播密植栽培体系の確立
海外留学諸活動 2件 (申請件数: 2件)		(単位: 円)			
学 部	所 属	職 名	氏 名	給付金	研究課題
医学部	内科学講座	助教(医科)	井岸 健	700,000	(1) 透析患者における骨折予測モデルの作成・検証 (2) 保存期腎不全患者における骨折予測モデルの作成・検証 (3) 腎不全患者における骨組織を顕微鏡に反映する血清マーカーの探索
	薬理学講座	助教	小口 達哉	1,000,000	アルツハイマー病における脳腸相関の解明

令和2年度 昭和大学学業成績優秀賞決定

本学では学生の成績優秀者の学業に対する努力を讃え、学生の学習意欲を喚起することを目的に、本賞を授与している。今年度は20名の学生への授与が決定された。

令和2年度 学業成績優秀賞受賞者	
医学部	2年 櫻井 春輝
	3年 松本 宗也
	4年 平野 真穂
	5年 西村 太一
	6年 大日方 遼
歯学部	2年 田代 安美
	3年 飯田 萌
	4年 東郷 健真
	5年 北株賢太郎
	6年 池端 陽介
	6年 須戸 雄大
薬学部	2年 進藤磨衣子
	3年 天野 結衣
	4年 粟根 大揮
	5年 花澤 聖
	6年 須戸 雄大
	6年 須戸 雄大
保健医療学部	2年 村上 綾 (理学療法学科)
	3年 関崎 知美 (作業療法学科)
	4年 井上みなみ (看護学科)
	4年 井上みなみ (看護学科)
看護専門学校	2年 松本明香里
	3年 河上 奈央

令和2年度 上條最優秀論文賞受賞者および論文名

本賞は上條奨学賞と同様に、学祖上條秀介博士からの寄付を奨学基金とし、本学において最も優秀な論文を発表した研究者の栄誉を讃え、本学研究者の研究活動を促進することを目的とし令和2年度に制定されたものであり、最も優れた論文に対して授与するものである。

第1回目となる今回は内視鏡画像診断支援ソフトウェア『EndoBRAIN®』の開発をし、それに伴う論文を発表した共同筆頭著者である工藤進英特任教授と三澤将史講師が選ばれた。

令和2年度 昭和大学上條最優秀論文賞

Artificial Intelligence-assisted System Improves Endoscopic Identification of Colorectal Neoplasms.	昭和大学 特任教授 工藤 進英
	医学部 内科学講座 消化器内科学部門 講 師 三澤 将史



保険・資産運用・住宅ローン等のご相談は
各最寄の店舗までお気軽にご相談下さい。

長原支店 TEL:03-3720-0171
横浜藤が丘支店 TEL:045-971-2201
港北ニュータウン支店 TEL:045-941-1512
深川支店 TEL:03-3641-8301
烏山支店 TEL:03-3307-3613

上條奨学賞 今年度は8名が選ばれる

上條奨学賞は、1953年に上條秀介学長(当時)が還暦のうちに寄附した上條奨学基金の果実によって行われ、学術上有益な研究業績を挙げた人、教育実践上の功績を挙げた人を、それぞれ表彰する。

上條奨学資金委員会は各学部からの推薦に基づき、次の8名を今年度の受賞者に決定した。

研究業績部門

医学部 外科学講座 消化器一般外科学部門 准教授 青木 武士



「腹腔鏡下系統的肝切除におけるICG蛍光法を用いた肝区域同定法の確立」

このたびは名誉ある上條奨学賞を賜り大変光栄に存じます。またご指導いただきました村上雅彦教授をはじめ多くのご支援を賜りました関係各位の皆さま方に心から感謝申し上げます。

近年、低侵襲手術として腹腔鏡下肝切除術が広く行われていますが、開腹手術と同様に腹腔鏡下で解剖学的肝切除が可能なことは、正確な局所解剖情報を把握することが重要であります。本研究では手術直前に体外式超音波ガイド下と目的とする門脈内へICGを投与することで、腹腔鏡下で正確な解剖学的肝切除が可能であることを報告しました。

歯学部 歯科薬理学講座 講師 茶谷 昌宏



「メダカを用いた骨代謝研究」

このたび、伝統ある上條奨学賞を賜り大変光栄に存じます。私は、学生の頃に宇宙と生命の関わりに興味を抱き、メダカを用いた重力と骨代謝の関係解明に取り組んで参りました。前職の東京工業大学では、国際宇宙ステーションでメダカを飼育しました。昭和大学の歯学部歯科薬理学講座に着任してからは、歯学部マルチドクターの学生とともにJAXA(宇宙航空研究開発機構)の装置を利用して、メダカに過重力を与える実験をしました。さらに整形外科の大学院生とは、髓鞘を蛍光標識した遺伝子組換えメダカを開発し、骨折治癒の機序を解明しました。

これまでの研究が評価されたことを大変嬉しく思うとともに、今後もメダカを用いて、私のライフワークである「宇宙医学に気を引き締めてアプローチしていく」所存でございます。末筆となりましたが、ご指導いただいた高見正道教授と薬理科学研究センターの皆さまに心より感謝申し上げます。

薬学部 社会健康薬学講座 衛生薬学部門 講師 桑田 浩



「高度不飽和脂肪酸の貯蔵量の低下が生体へ及ぼす影響」

このたびは大変名誉ある上條奨学賞を賜り光栄に存じます。未だ発展途上の研究成果であります。評価していただくことは今後の研究の推進力となります。ご指導いただきました原後太郎教授をはじめとする衛生薬学部門の先生や学生の皆さん、ご協力いただきました学内外の多くの方々はこの場をお借り

して心より御礼申し上げます。本研究では、長鎖アシルCoA合成酵素4(ACSL4)が高度不飽和脂肪酸の細胞内への貯蔵に関与することを見出しました。現在は、ACSL4の生理現象や疾患における役割について解析を進め、高度不飽和脂肪酸の利用を制限した際の生命応答への影響を明らかにすることを目指しています。

保健医療学部 看護学科 准教授 安部 聡子



「女性健診受診者の年代別朝食欠食とメタボリックシンドローム関連指標による検討」

上條奨学賞の受賞を賜りまして、周囲の方々への感謝の気持ちで一杯でございます。この名誉ある賞に恥じないように、これからも日々研鑽を重ねていきたいと存じます。私は、予防医学の観点から栄養や食事、健康との関連を研究しております。本研究のメインテーマである「朝食欠食」は、若年世代で最も多い食習慣の問題であり、朝食を食べることは、時間栄養学という分野でも日内サイクルを整える意味で重要だと言われております。私自身は、この朝食欠食の影響を生理学的な観点からも研究しており、今後もこの分野の研究を継続していきたいと考えております。また、スポーツ運動科学研究所における栄養とスポーツに関する研究活動も推進していきたいと思っております。

最後にになりましたが、ご指導をいただきました下司映一保健医療学部長、日々研究活動をご支援くださっている三村洋保健医療学研究科長に厚く御礼申し上げます。

教育業績部門

医学部 皮膚科学講座 教授 末木 博彦



「医学教育分野別評価に基づく医学教育改革の推進」

このたびは名誉ある上條奨学賞をいただき、誠に光栄に存じます。厚く御礼を申し上げます。本学医学部は2018年5月に日本医学教育評価機構による分野別認証評価を受審しました。私も受審準備のため自己点検評価書作成に参画し、本学における医学教育の現状を客観的に振り返ることができました。

受審結果を踏まえ、今年度の1年生から新しいカリキュラムがスタートしました。大きな変革は大教室での座学を効率化して短縮し、学生は情報通信技術(ICT)を用いて能動的に勉強する事が求められます。COVID-19の拡大は図らずも新カリキュラムには追い風になっております。1年生が6年後にどのような学修成果が得られ、そしてどのような医師が誕生するのから楽しみにしております。

歯学部 全身管理歯科学講座 歯科麻酔科学部門 教授 飯島 毅彦



「全身との関連を理解した臨床歯科医育成に向けた歯科学修体系の構築」

5月31日、上條記念館において上條奨学賞(教育功績部門)を受賞いたしました。まさに身に余る光栄です。昭和大学に赴任したのは約8年前ですが、その印象は何と教育に熱心な大学だろうというものでした。ワークショップなどのFDには理事長先生はじめ学

長先生ら必ず参加され講演をされています。新鮮な驚きでした。歯学部における私の教育分野は麻酔という単なる診療科としての麻酔業務を教えるだけでなく、歯科患者の全身評価と医療上の管理方法の基本を教える科目です。ある意味では昭和大学の特徴である学部連携の分野であるかもしれません。私には分不相応な受賞ではありますが、この賞に恥じぬように学生の教育に努力していることと気持ちを新たにしております。

薬学部 基礎薬学講座 准教授 小濱 孝士



「薬剤師基礎能力の主体的な修得を目指した学修体系の構築」

このたびは名誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄に存じます。今回の受賞は、これまでご指導いただきました倉田なおみ客員教授をはじめ、ご理解とご協力をいただきました多くの先生方のお力添えによるものであり、心より御礼申し上げます。

基礎となる知識と技術を修得し、共用試験(OSCE)で技能・態度の評価を受ける重要な時期となります。4年次での実務実習前学習からOSCEにかけて、学生が主体的に学修し技術を向上させるための実習・練習体系を構築してきました。多くの先生方と情報共有して連携を深め、学生個々に応じた対応を行うことの重要性を強く認識しながら取り組んでおります。今後先生方とともに尽力していく所存ですので、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしく御礼申し上げます。

保健医療学部 保健医療学教育 准教授 大崎 千恵子



「臨床教員制度の基盤構築と教育プログラムの開発・導入」

このたびは名誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄であり、心より御礼申し上げます。看護学科臨床教員制度は全国に先駆けて2012年に臨床教員14名ではじまり、2020年4月で36名が在籍しております。私は2020年から責任者として、臨床教員の組織化および各々の教授能力向上に向けた教育プ

ログラムの策定と推進に努めてまいりました。これらは私一人の力では到底成しえず、ご指導いただきました下司映一保健医療学部長をはじめ、導入に尽力された市川幾恵看護キャリア開発・研究センター長、教育者と臨床実践者という垣根をこえて互いに改革を積み重ねてきた教職員のみなさまの協力の賜物と深謝いたします。これからも昭和大学における看護基礎教育および看護師教育の発展に向け一層精進する所存ですので、よろしく御礼申し上げます。

令和元年度

決算の概要

学校法人昭和大学

令和元年度 学校法人昭和大学の決算は、令和2年5月19日の理事会で承認頂き、同月29日の評議員会に報告しました。令和元年度の主な事業は以下の通りです。創立90周年記念事業の集大成として上條記念館が竣工し、11月10日に「創立90周年記念式典・祝賀会」を挙行しました。藤が丘病院再整備計画につきましては、横浜市、東急株式会社および本学の三者で新たなまちづくりに取り組みするために、再整備基本計画の検討を進めるとともに、地域の方々が参加するワークショップを開催しました。外部資金の獲得としては、私立大学等経常費補助金の交付額が前年度から一つ順位が上がって全国6位でした。教育、研究、診療の更なる発展に向けた今後の施設設備投資に備え、富士吉田校舎施設整備引当特定資産、藤が丘病院再整備引当特定資産、旗の台キャンパスCサイト整備引当特定資産を新設し、合わせて135億円の積立を行いました。各附属病院の活性化対策として、大学病院にリニアック棟を建設し、放射線治療装置(トモセラピー装置)の稼働を開始しました。北部病院では電子カルテシステムの更新を行いました。藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院との三病院で電子カルテシステムが統合されたことにより運用の統一やデータの集約が可能となりました。

動に対応する、資金の動きを伴う全ての収入支出の内容を示しております。当年度の資金収入は前年度繰越支払資金を除いた1,272億505万円、資金支出は翌年度繰越支払資金を除いた1,354億9,225万円、支払資金が82億8,720万円の減少となりましたが、使途の決まっている特定資産へ176億円繰り入れた影響で現預金が減少したということではありませぬ。収入の部の主要科目では、予算に比べて学生生徒等納付金収入は334万円の増、手数料収入は1億5,695万円、寄入金収入は1億5,695万円、寄付金収入は1億5,695万円、補助金収入は1億5,695万円、資産売却収入は1億5,695万円、付随事業・収益事業収入は1億5,695万円、医療収入は1億5,695万円、受取利息・配当金収入は1億5,695万円、雑収入は1億5,695万円、借入金等収入は1億5,695万円、前受金収入は1億5,695万円、その他の収入は1億5,695万円、資金収入調整勘定は△18,820,654,741円、前年度繰越支払資金は36,061,861,607円、収入の部合計は163,266,920,202円、支出の部合計は163,266,920,202円、支出の部の主要科目は、予算に比べて人件費支出が11億8,060万円の減で執行率は97.7%、教育研究経費支出が4億8,256万円の増で執行率は100.9%となり、この教育研究経費の中で大きな比重を占める、薬品費・医療材料費・給食材料費・医療委託費からなる「直接医療経費」は医療収入の34.6%でした。管理経費支出は4億5,662万円の減で執行率は89.7%となりました。また、土地、建物等の施設関係支出は予算に比べて16億3,106万円の減で執行率は74.6%、教育研究用機器備品、図書などの設備関係支出は5億9,697万円の減で執行率は88.0%となりました。これら以外の科目では借入金等返済支出、資産運用支出等があります。

令和元年度 資金収支計算書

(単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	9,355,950,000	人件費支出	51,065,647,519
手数料収入	402,406,160	教育研究経費支出	52,391,669,698
寄付金収入	1,362,334,191	管理経費支出	3,992,664,786
補助金収入	6,557,675,217	借入金等利息支出	285,591,928
資産売却収入	3,530,000	借入金等返済支出	2,542,920,000
付随事業・収益事業収入	1,961,007,563	施設関係支出	4,778,251,331
医療収入	100,362,648,744	設備関係支出	4,395,563,754
受取利息・配当金収入	153,700,028	資産運用支出	17,676,264,102
雑収入	1,787,122,795	その他の支出	8,910,855,721
借入金等収入	0		
前受金収入	1,942,224,448		
その他の収入	22,137,114,190		
資金収入調整勘定	△ 18,820,654,741	資金支出調整勘定	△ 10,547,168,911
前年度繰越支払資金	36,061,861,607	翌年度繰越支払資金	27,774,660,274
収入の部合計	163,266,920,202	支出の部合計	163,266,920,202

令和元年度 事業活動収支計算書

(単位:円)

教育活動収支		特別収支	
事業活動収入の部		事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	9,355,950,000	資産売却差額	2,072,285
手数料	402,406,160	その他の特別収入	818,637,822
寄付金	831,656,143	特別収入計	820,710,107
経常費等補助金	6,355,833,174	事業活動支出の部	
付随事業収入	1,861,719,792	資産処分差額	307,090,539
医療収入	100,362,654,244	その他の特別支出	51,453,364
雑収入	1,779,889,340	特別支出計	358,543,903
教育活動収入計	120,950,108,853	特別収支差額	462,166,204
事業活動支出の部		基本金組入前当年度収支差額	5,430,279,986
人件費	51,461,858,593	基本金組入額合計	△ 10,035,741,449
教育研究経費	60,079,795,160	当年度収支差額	△ 4,605,461,463
管理経費	4,367,027,345	前年度繰越収支差額	△ 103,761,560,352
徴収不能額等	40,709,844	翌年度繰越収支差額	△ 108,367,021,815
教育活動支出計	115,949,390,942		
教育活動収支差額	5,000,717,911		
教育活動外収支			
事業活動収入の部			
受取利息・配当金	153,700,028		
その他の教育活動外収入	99,287,771		
教育活動外収入計	252,987,799		
事業活動支出の部			
借入金等利息	285,591,928		
その他の教育活動外支出	0		
教育活動外支出計	285,591,928		
教育活動外収支差額	△ 32,604,129		
経常収支差額	4,968,113,782		

貸借対照表

令和2年3月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債の部	
固定資産	174,074,738,809	固定負債	31,350,688,937
有形固定資産	141,017,289,194	流動負債	16,041,264,097
特定資産	25,441,132,279	負債の部合計	47,391,953,034
その他の固定資産	7,616,317,336	純資産の部	
流動資産	45,262,361,705	基本金	280,312,169,295
		繰越収支差額	△ 108,367,021,815
		純資産の部合計	171,945,147,480
資産の部合計	219,337,100,514	負債及び純資産の部合計	219,337,100,514

220億2,380万円となり、予算より26億2,516万円の増加となりました。科目ごとの金額は資金収支と重複しますので主要科目の構成割合を示します。学生生徒等納付金は7.7%、経常費等補助金は5.2%、医療収入は82.2%となりました。一方、事業活動支出の部合計は1,165億9,352万円となり、支出合計は予算より14億5,645万円の減少となりました。人件費は44.1%、教育研究経費は51.5%、管理経費は3.7%となりました。なお、資金の動きを伴わない退職給与引当金繰入額2億3,262万円が人件費に、減価償却引当金81億4,411万円が教育研究経費と管理経費に含まれております。基本金組入前当年度収支差額は、54億3,027万円の収入超過、赤字となり、基本金組入額100億3,574万円を引いた当年度収支差額は、46億546万円の支出超過となりました。

令和2年3月31日現在の財産状況を示しております。固定資産(土地・建物・機器備品・特定資産他)と流動資産(現金預金・未収入金他)の資産の部合計は2,193億3,710万円、前年度末と比べて53億8,063万円の増加となりました。主な変動要因として、建物が55億3,338万円の増、教育研究用機器備品が7億3,560万円の減、建設仮勘定が上條記念館の竣工に伴い46億9,130万円の減、第3号基本金引当特定資産が3億544万円の増、上條記念館建設引当特定資産が18億1,385万円の減、減価償却引当特定資産は電子カルテ等引当特定資産へ名称変更し4億9,000万円の増、校地拡充引当特定資産が8億6,225万円の増、施設設備引当特定資産が10億円の減、今年度新設した富士吉田校舎施設設備引当特定資産と旗の台キャンパスCサイト整備引当特定資産は各々10億円の増、4万円、前年度より54億3,027万円増加となりました。

*本学は財務情報の公開の一端として、当法人の「利害関係者」に財務諸表等の閲覧を行います。また、昭和大学(財務担当理事 中村明弘)

医学堂書店

品川区旗の台
電話(03) 3783-9774



昭和大学 富士吉田の天然水

各種グッズも取り扱っております
・創立90周年記念切手
・昭和大学オリジナルファンポロシャツ など販売中!

昭友商事株式会社
☎ 03-3784-8280 http://www.shoyu-trading.com/



あなたの人生に、「かかりつけ」の安心を。

日本調剤

日本調剤株式会社 東京都千代田区丸の内1-9-1 http://www.nicho.co.jp/

4万円、前年度より54億3,027万円増加となりました。

*当法人の財務諸表は、学校法人会計基準に則って作成しており、補助金交付の表示区分となっております。



江東豊洲病院 管理課 成田 智貴(江東豊洲病院より)



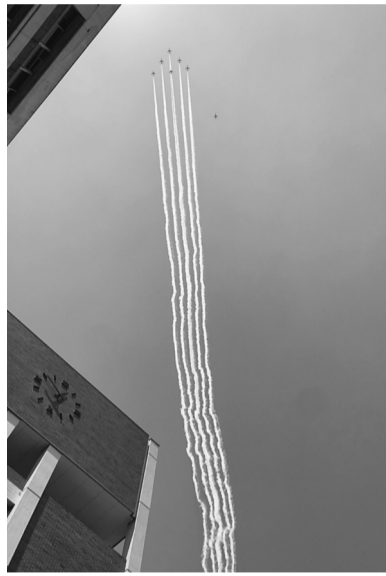
昭和大学 学長 久光 正(大学1号館屋上より)

ブルーインパルスから医療従事者等へ感謝の飛行

5月29日、航空自衛隊のブルーインパルスが、新型コロナウイルス感染症の対応に当たっている医療従事者等に対する敬意と感謝を示すため都心上空を飛行しました。飛行ルート上には昭和大学病院が含まれており、ほぼ真上を通過していくブルーインパルスに大学・病院関係者は空を見上げ写真を撮影したり手を振る姿が見られました。これを励みに今後も地域医療への貢献、そして安全・安心な医療の提供に努めてまいります。今回の飛行を実施していただいた航空自衛隊とブルーインパルスの皆さまに深く感謝を申し上げます。

令和2年5月29日
学校法人昭和大学

昭和大学病院 看護部 畑 麻紀(大学構内より)



昭和大学病院 看護部 田口 美保
(昭和大学病院附属東病院の屋上より)



歯学部 歯周病学講座 菅野 真莉加
(歯科病院駐車場より)



令和2年度 科学研究費助成事業交付内定状況

年度	令和2年度	
	件数	金額(円)
総計	290	327,400,000
学部・研究所別内訳		
医学部	123	129,700,000
歯学部	103	133,600,000
薬学部	27	30,200,000
保健医療学部	20	14,600,000
富士吉田教育部	1	500,000
医科薬理学	1	1,100,000
臨床薬理研究所	2	1,500,000
発達障害医療研究所	6	7,800,000
スポーツ運動科学研究所	1	1,100,000
遺伝子組換え実験室	1	1,000,000
電子顕微鏡室	1	1,100,000
統括研究推進センター	2	2,300,000
藤が丘病院再整備準備室	1	900,000
上條記念ミュージアム準備室	1	2,000,000
研究種目別内訳		
新学術領域研究	2	5,500,000
基盤研究(B)	6	23,400,000
基盤研究(C)	156	156,000,000
挑戦的研究(萌芽)	3	5,300,000
若手研究(A)	1	4,000,000
若手研究(B)	2	2,200,000
若手研究	113	122,100,000
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	1	2,500,000
研究活動スタート支援	6	6,400,000

令和2年度の科学研究費助成事業の交付が内定し、本学は昨年度より35件多い290件が採択され、総計で3億2,740万円が交付される。

同事業は、人文・社会科学から自然科学までのすべての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる学術研究(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発

展させることを目的としており、研究者の審査・評価を経て、採択課題が選定される。交付内定の各内訳は次のとおり。

令和2年度 科学研究費助成事業 交付内定

第29回昭和大学学士会シンポジウム バイオメディカルサイエンスの最前線

日時: 令和2年8月29日(土) 13:00~15:00
場所: 昭和大学1号館7階講堂

- レドックス感受性アダプター分子の疾患発症における役割
昭和大学医学部生化学講座 准教授 金山 朱里
- 生活習慣病に潜むタンパク質分解異常
昭和大学医学部生化学講座 准教授 宮崎 拓郎
- オルガノイド技術を用いた多能性幹細胞による3次元唾液腺の誘導
昭和大学歯学部口腔病態診断科学講座口腔病理学部門 講師 田中 準一
- 最新の電子顕微鏡解析技術により浮かび上がった破骨細胞の高次構造とその機能
昭和大学歯学部歯科薬理学講座 教授 高見 正道

実習を控える学生へPCR検査

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、3月初旬から中断していた臨床実習が再開される見通しになったことを受けて、臨床実習開始を控える本学学生にPCR検査が行われた。

本学では学内に新型コロナウイルス対応PCRセンターを設置しており、学内で採取された検体を迅速に検査できる体制となっている。

同PCRセンターは、6月2日に「昭和大学新型コロナウイルス対応PCRセンター」を開設した。



品川区保健所に衛生検査所として認可され、本学の感染管理対策を担う存在となっている。



健康応援オーケストラ
株式会社 **メディセオ**

東京本社 〒104-8464 東京都中央区八重洲二丁目7番15号 TEL/03 (3517) 5050 (代)
URL/http://www.mediceo.co.jp